

平成 17 年 11 月 10 日

各 位

本店所在地 京都市山科区竹鼻堂ノ町 46 番地の 1

会 社 名 オプテックス・エフエー株式会社

(コード番号：6 6 6 1)

代 表 者 代表取締役社長 小國 勇

問い合わせ先 取締役総務・経理グループ統括

坂口 誠邦

電 話 0 7 5 - 5 9 4 - 8 1 3 9

## 新規事業開始に関するお知らせ

当社は、かねてより新たな成長を目指し、新規事業の立ち上げの計画を進めておりましたが、画像処理用 LED 照明の事業を開始することといたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 新規事業の趣旨

当社では、産業用光電センサのラインナップの拡充とともに、画像センサ「CVSシリーズ」をはじめとするアプリケーションセンサの開発、販売にも注力しており、とりわけ「CVSシリーズ」はカメラ・コントローラー・照明・モニターをオールインワンにした画期的なもので従来の画像センサに無かった新しいコンセプトの製品として平成15年9月の発売以来、主として飲料、薬品、化粧品といった三品業界で高い評価を得ております。

製造現場では、品質管理や検査ニーズが高く、従来までの目視検査からカメラを用いた自動化が進められており、これらのファクトリーオートメーションの進展に伴い画像処理機器の需要は拡大傾向にあります。

画像処理は、「カメラにて、対象物の撮像を行い」「撮像画像をCPUにて解析処理する」ことで検査判定を行います。また、周辺機器として「照明」があり、単に対象物を照らす以外に、検査項目の特徴を強調させる役割があり、例えば傷や異物・へこみなどを検査したい際に、予め照明で強調させることで、画像処理の検査能力の安定化を確保することができます。

今後、製造現場において益々、検査要求の高まりとともに画像処理において照明を含めたシステム提案が求められることから、当社においてもCVSシリーズのラインナップの拡充を行い、画像機器単体だけでなく、照明を含めたシステム提案を行うことで製造現場でのソリューションを高め、顧客満足の向上に努めてまいりたいと考えております。

また、当社は強みとして画像センサ「CVSシリーズ」の開発で培った画像処理技術を有しておりますので、画像処理を行う上で最適な照明の提案が行えることに加え、画像処理本体と照明とを融合させることでシステム制御も可能となり、より精度の高い検査能力の向上にも取り組んでまいりたいと考えます。

## 2. 新規事業の内容

- ①画像処理用LED照明ラインナップ約500種類の販売
- ②当社画像センサとLED照明とのトータル提案・販売
- ③LED照明のみの提案・販売

## 3. 事業の開始時期

平成18年1月

## 4. 売上目標

初年度（平成18年12月期） 1億円

## 5. 今後の展開計画、見通し

同事業の進出は、当社がかねてより検討しておりました事業領域の拡大並びに当社の既存顧客との継続的な接点作りを行うものであります。また、従来の三品（食品・化粧品・薬品）業界に加え、電機・自動車・半導体といった新たな市場開拓にも繋げていき、販路の拡大と将来の収益拡大へ貢献ができるものと確信しております。

以上